

報告会「私が体感したシリアの春／戦乱の母国を逃れて」開催案内

本報告会は、シリアのホムスに赴任した JICA のシニア・海外ボランティアのOBの有志が、同国の市民の悲惨な状況を憂え、シリア市民への支援の輪を広げるために計画したものです。

民主化を求めるシリアの春が始まった一昨年(2019年)の3月から、本年(平成25年)の2月までに死者は6万人を超え、国外へ脱出した難民は54万人に上り、またシリア内で厳しい避難所暮らしを余儀なくされている市民も400万人と言われ、しかも内戦は激化しています。

[この戦乱のシリアから](#)、知人のシハブ博士(シリア人)と戸田氏が身の危険を感じ昨年6月我国に避難されたとの消息が、やっと今年の1月に分かりました。そこで、早速お二人にお会いし、報告会の開催を提案したところ、賛意を得ました。

両氏は、アラブの春が勃発する以前からシリアのホムスに在住され、[日本シリア友好協会\(JSFA\)](#)で、[シリア人には日本語を教え](#)、日本人にはアラビア語を教授するなどの活動を通じて両国の友好親善活動に従事されていました。

その一方で、シリアの春が激化すると、シハブ博士はボランティアとして住民の救済活動を始められましたが、その間に自宅が破壊され、自身も負傷されました。それでも、博士は家族4人を日本に残し、今も救援活動のため母国を往来されています。

内戦下でシリアの人々は困窮や不安、恐怖に苛まれて暮らしていますが、我々日本人はその状況を具には知りません。しかも、私達は、民主化運動の背景や内戦突入への原因さえ、マスコミ情報で概念的に理解しているに過ぎません。

このような皆様の疑問への回答も含め、「私が体感したシリアの春」と題して、お二人からシリアの春の実相について報告して頂くことにしました。

加えて、博士の知人でフリーのジャーナリストの西谷文和様が、賛助参加され、シリアの内戦の状況を映像で示しながら講演されます。氏は中近東やアフリカなどのテロが続く政情不安なイスラム圏諸国を中心に取材を活動され、テレビ朝日「報道ステーション」などで戦争の悲惨さを訴えられています。

シリアの惨状や人々の窮状を知って、苦しみに喘ぐ市民を援助したいと思われたら、シリアの難民や国内の被災住民への救済活動をしている諸機関や団体への寄付の検討をお願い致します。このうち、[国連難民高等弁務官事務所\(UNHCR\)](#)による難民支援と[赤十字社](#)の国内避難民の救護活動については、両社から紹介されます。報告会の発表目次は下記の通りです。

報告会の発表目次

- (1) 14:00~14:10 報告会趣旨説明、講演者紹介 : シリア国際交流活動0V会
- (2) 14:10~14:30 内戦のシリアを踏査して : 西谷氏(フリージャーナリスト)
- (3) 14:30~15:50 私が体感したシリアの春 : 戸田氏(前篇)、シハブ博士(後篇)
- (4) 15:50~15:57 シリア難民救援活動状況 : 中村様(国連UNHCR協会)
- (5) 15:57~16:05 シリア国内での救護活動状況 : 藤枝様(日本赤十字社)
- (6) 16:05~16:25 質疑応答 : 発表者全員
- (7) 16:25~16:30 感想 : 山崎様(国際ロータリー2380地区パスト・ガバナー)

1. 開催期日：3月31日（日） 14:00～16:30

2. 開催場所：[JICA地球ひろば](#) 国際会議場
東京都新宿区市谷本村町10-5 電話：03-3269-2911

3. 発表者

・Dr. Shihab J. Mohd.（JSFA 会長代理、2007年シリアバース大学助教授、日本語教師）
1965年生、バース大学体育学部および国際組織法学部卒業、
1990～1997年高等教育のため早稲田大学と明海大学及びテンプル大学に留学
1997年国際関係博士、2005年JSFAの会長代理

・戸田征夷一（JSFA 顧問（英語と日本語教師兼務）、元 UNHCR 職員）
1942年生、神戸市外国語大学英米科卒業、1978～1981年 UNHCR 勤務、
1995年脳梗塞発症ホムスに転地療養、2006年ホムスに転居、2008年 JSFA 顧問

・西谷文和（フリージャーナリスト、イラクの子供を救う会代表）
1960年生、大阪市立大学経済学部卒業、吹田市市役所勤務を経てフリーのジャーナリスト
2006年度「平和協同ジャーナリスト大賞」を受賞、
テレビ朝日「報道ステーション」などで戦争の悲惨さを訴え

3. 日本シリア友好協会（JSFA）概要

- ・協会の形態：NGO（Non Government Organization）
- ・設立：2003年 Dr. Shihab J. Mohd.と他の1名のシリア人により設立
- ・目的：
 - ・観光事業および文化交流分野での日本とシリアの親善促進
 - ・シリア在住の日本人と日本在住のシリア人との交流促進
- ・活動場所：シリアのホムスのバース大学構内、東京に支局
- ・主たる業務：
 - ・語学教室（日本語、英語、アラビア語）（無償）
 - ・パソコン教室（有料）
 - ・日本へのシリア人奨学金留学生派遣（2～3人／年）
 - ・シリア市民救済活動（シリアの春勃発以降）

4. 参加費：500円

5. 開催体制

主催：シリア国際交流活動0V会 後援：[国際協力機構（JICA）](#)

協力：日本シリア友好協会（JSFA）

（講演会は[「Milai」](#)でネット生中継されます。欠席の場合は録画を御覧頂ければ幸いです）